取扱説明書

バッテリチャージャ　　バッテリボックス

DS-558　DS-559

IWATSU

バッテリボックス・DS-559 / バッテリチャージャ・DS-558 取扱説明書

はじめに

◇ この度は岩通の電子測定器をお買い上げいただき、ありがとうございます。
◇ 本取扱説明書をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。お読みになった後も、大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

本製品を安全にお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防ぐために守っていただきたい事項が本取扱説明書の「⚠警告」と「⚠注意」に記載されています。安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

本取扱説明書の「⚠警告」と「⚠注意」の説明

⚠ 警 告	ここに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する または 重傷を負う可能性が想定されます。
⚠ 注 意	ここに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う または 機器が破損する可能性が想定されます。

バッテリボックスDS-559はディジタルストレージスコープDS-8710/06と組み合わせて使用します。ディジタルストレージスコープの「⚠警告」と「⚠注意」も、併せてお読みください。

ご注意

◇ 本取扱説明書の内容の一部を性能・機能の向上などにより、予告なく変更することがあります。
◇ 本取扱説明書の内容を無断で転載、複製することを禁止します。

履 歴

⚠警　告

バッテリボックス / 急速充電器 共通

● **本器に水が入らないよう また 濡らさないようご注意ください。**
濡らしたまま使用すると感電・火災の原因になります。

● **本器に水滴が付着している または 手が濡れているときは、使用しないでください。**
水滴が付着している または 手が濡れていると、感電・火災の原因になります。

● **所定の充電時間を超えても急速充電が完了しない場合は、充電をおやめください。**
そのまま充電を行うと、感電・火災の原因になります。

● **本器の分解・改造をしないでください。**
本器を分解・改造すると、感電・火災・故障の原因になります。分解・改造した場合は修理に応じられないことがあります。

● **故障したまま使用しないでください。**
故障したまま使用すると、感電・火災の原因になることがあります。

バッテリボックス

● **安全のため、以下の事項を厳守してください。**
・バッテリボックスを火中に投げない。
・バッテリボックスをDS-8710/06以外の電源に使用しない。
・バッテリボックスの電極間をショートしない。
・バッテリボックスに直接半田付けをしない。
・バッテリを充電するときは、当社指定の急速充電器DS-558を使用する。

急速充電器

● **ACプラグをコンセントから外すときは、電源プラグを持って抜いてください。**
電源コードを引っ張るとコードが傷つき感電・火災の原因になります。

● **ACプラグのコードの取扱いについては、以下の事項を厳守してください。**
厳守しないと感電・火災の原因になります。

⚠警　告（続き）

コードが傷んだ場合は当社のサービス取扱所（巻末の『サービスネットワーク』参照）に修理をご依頼ください。

・電源コードを加工しない　・電源コードを束ねない　・電源コードを濡らさない
・電源コードを無理に曲げない　・電源コードを引っ張らない　・電源コードに重いものをのせない
・電源コードをねじらない　・電源コードを加熱しない

● **電源プラグの刃に金属などを接触させないでください。**
金属などを接触させると感電・火災の原因になります。

● **充電端子を金属でショートさせないでください。**
充電端子を金属でショートさせると、火災・故障の原因になります。

● **規定の電源電圧でご使用ください。**
規定以外の電圧で使用すると、感電・火災・故障の原因になります。使用できる電源範囲は90～110 VACです。

● **開口部をふさいだり、開口部から金属類や燃えやすいものなど異物を入れないでください。**
開口部をふさいだり、開口部などから異物を入れると、火災・故障の原因になります。

⚠注　意

バッテリボックス / 急速充電器　共通

- **規定の動作温湿度範囲内でご使用ください。**
  動作範囲外で使用すると、故障の原因になることがあります。使用できる温湿度範囲は次の通りです。
  温　度 ： 0 ℃～＋40 ℃
  湿　度 ： 80%RH（40℃）以下
- **ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に本器を置かないでください。**
  落ちたり　倒れたりすると、感電・けが・火災の原因になります。
- **直射日光のあたるところや湿度の高いところに置かないでください。**
  内部の温度が上がり、火災の原因になることがあります。
- **雷が鳴り出したら、本器を使用しないでください。**
  雷が鳴っているとき、本器を使用すると、感電の原因になることがあります。
- **振動・衝撃の多い場所に本器を置かないでください。**
  振動・衝撃の多い場所に本器を置くと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- **ちりやほこりの多い場所に本器を置かないでください。**
  ちりやほこりの多い場所に本器を置くと、感電・火災の原因になることがあります。
- **ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。**
  それらの溶剤などで拭くと故障の原因になります。

バッテリボックス

- **長期間ご使用にならない場合は、安全のため、バッテリボックスをDS-8710/06から取り外してください。**
- **規定の温湿度範囲内の場所に保存してください。**
  規定外の場所に保存すると、故障の原因になることがあります。

⚠注　意（続き）

保存できる温湿度範囲は次の通りです。

・通常の保存
　温　度 ： －10℃～＋50℃
　湿　度 ： 85%RH（40℃）以下

・長期間（3ヶ月以上）の保存
　通常の乾燥した環境のもとで下記温度内
　温　度 ： －10℃～＋35℃

急速充電器

● **長時間ご使用にならない場合は、安全のためACプラグをコンセントから抜いてください。**

異常があった場合は急速充電器のプラグをコンセントから抜いた後、当社のサービス取扱所（巻末の『サービスネットワーク』参照）に修理をご依頼ください。

1. 概　要

バッテリボックスDS-559はDS-8710/06用の直流電源です。専用の急速充電器DS-558を使用すると約2.5時間でバッテリの充電ができます。

2. 性　能

バッテリボックスDS-559

使用電池	高容量単二形Ni-Cd電池6セル直列接続
電池容量	定格7.2V（1.2V×6）2800mAh
充電時間	
急速充電器DS-558使用時	
空に近いとき	約2.5時間（常温にて）
満充電に近いとき	約20分（常温にて）
ACアダプタDS-555使用時	
電源OFFのとき	約20時間（常温にて）
電源ONのとき	約60時間（常温にて）
連続使用時間	満充電後、約100分（常温にて）
充放電回数	約500回
電池-ACアダプタ切換	自動（ACアダプタの電源を自動検出）
質　量	約650g
大きさ	約170W×65H×55L（mm）
動作温湿度範囲	
温　度	0℃～＋40℃
湿　度	85%RH（40℃）以下
保存温湿度範囲	
通常の保存温度	－10℃～＋50℃
通常の保存湿度	85%RH（40℃）以下

急速充電器DS-558

充電時間	バッテリボックス参照
充電電流	
急速充電	約1.3A
トリクル充電	約170mA
使用電源	AC100V±10%
電源周波数	50/60Hz
消費電力	約35VA
質　量	約400g
大きさ	約70.5W×49.5H×165L（mm）
動作温湿度範囲	
温　度	0℃～＋40℃
湿　度	80%RH（40℃）以下
保存温度範囲	
温　度	－10℃～＋50℃
湿　度	70%RH（40℃）以下

長期の保存温度　　－10℃～＋35℃（通常の乾燥した環境にて）

[注] 使用時間、充電時間は使用温度、充放電回数、経年変化により異なります。

付属品

取扱説明書 1

3. 操作方法

⚠注　意

- ご購入直後のバッテリボックスは、そのままでは使用できません。専用の急速充電器でバッテリを充電してからご使用ください。
- ご購入直後のバッテリボックス および 長期間放置されたバッテリボックスは、初回の充電で所定の使用時間が得られない場合があります。2～3回充電と放電（ご使用）を繰り返していただければ、所定の時間ご使用できます。
- 画面のバッテリ残量表示が“PWR⎓”になったときは、速やかにバッテリを充電してください。
- バッテリを充放電できる回数は約500回です。この回数に達したときは新規にバッテリボックスをご購入ください。
- バッテリボックスの使用時間 および 充電時間は使用温度、充放電回数、経年変化により異なります。

3.1 急速充電器でバッテリを充電

ご購入後、急速充電器を使用して、バッテリボックス内のバッテリを充電してください。手順を以下に示します。

① 急速充電器をAC100Vのコンセントに差し込みます（図1参照）。

・ 急速充電器のPOWERインジケータが緑色に点灯します。

② バッテリボックスの入力端子に急速充電器のプラグを差し込みます（図1参照）。

・ 急速充電器のCHARGEインジケータが赤色に点灯します。

[注] プラグを差し込んでもCHARGEインジケータが点灯しない場合は、バッテリボックス または 急速充電器が異常です。バッテリボックスから接続プラグ、ACコンセントから電源プラグを抜いた後、当社のサービス取扱所（巻末の「サービスネットワーク」参照）にご連絡ください。

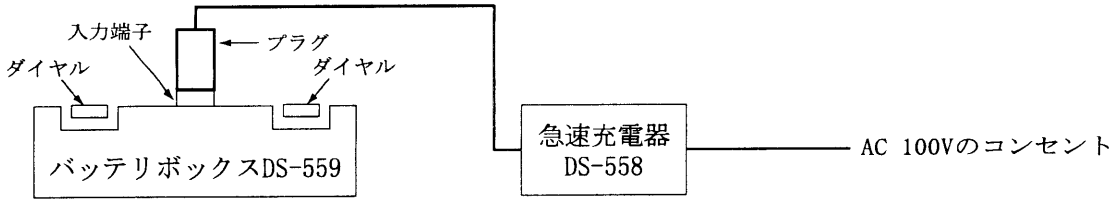


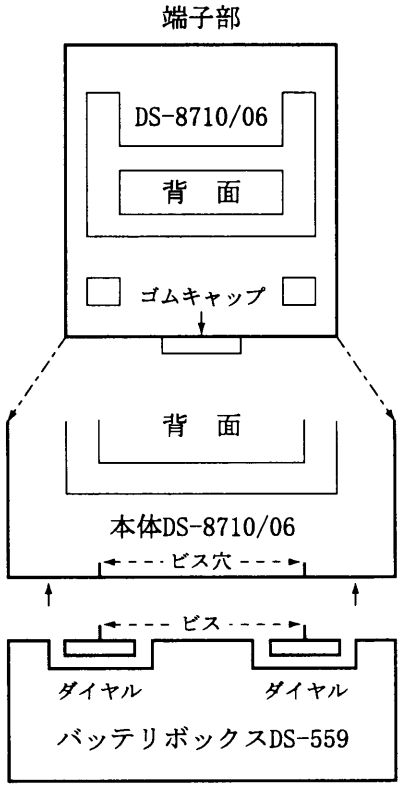
図1　充電時の接続

◇CHARGE インジケータが点灯すると、充電を開始します。充電中はバッテリボックス および 急速充電器があたたかくなりますが、故障ではありません。充電時間は約2.5時間です。充電が終了するとCHARGE インジケータが消灯します。

③CHARGE インジケータが消灯している状態で、バッテリボックスから急速充電器のプラグを抜きます。

④バッテリボックスをDS-8710/06に取り付けます。詳細は“3.2 バッテリボックスの取り付け”をご参照ください。

3.2 バッテリボックスの取り付け



手　順

← ① 背面を上にします。

← ② ゴムキャップを開けます。
・ 手前に引きながら上に押すとゴムキャップが開きます。

← ③ 左図のようにバッテリボックスを本体に取り付けます。

④ 本体のビス穴とバッテリボックスのビスの位置を合わせます。

⑤ 取り付けダイヤルを右方向に回して固定します。

3.3 バッテリ残量の画面表示

本体の画面右下にPWR■、PWR■、PWR▬、PWR▁またはPWR_を表示します。バッテリの残量がもっとも少ないときの表示がPWR_です。PWR_を表示したときは、速やかにバッテリを充電してください("3.4 バッテリの充電" 参照)。

[注] PWR_表示後、約10分で_表示が消えます。_表示が消えるとDS-8710/06の正面パネルのPOWER LOWBATT インジケータが点滅します。点滅後、約1分で電源が切断されます。

3.4 バッテリの充電

使用中に画面にPWR_を表示したとき、次のいずれかの方法でバッテリを満充電してください。

a. 急速充電器で充電する。
- 充電方法は "3.1 急速充電器でバッテリを充電" をご参照ください。
- 充電時間は "3.5 バッテリの使用時間と充電時間" をご参照ください。

b. AC電源で充電する。
- 本体にバッテリボックスを取り付けた状態で、ACアダプタDS-555をAC電源に接続すると、本体内蔵の充電回路により充電されます。
- 充電時間は "3.5 バッテリの使用時間と充電時間" をご参照ください。

3.5 バッテリの使用時間と充電時間

バッテリの性能、使用温度、充放電回数、経年変化により異なりますが下記を目安にしてご使用ください。

a. 満充電時の使用時間
常温で約100分です。

b. 充電時間
- 急速充電器DS-558使用時
  空に近いとき　　：約2.5時間で満充電になります。
  満充電に近いとき：約20分で満充電になります。
  [注] ご購入直後は上記以上の時間がかかりますが、繰り返しご使用いただくと所定の時間になります。

・ AC アダプタ DS-555 使用時
DS-8710/06 の電源が OFF のとき ：約 20 時間で満充電になります。
DS-8710/06 の電源が ON のとき ：約 60 時間で満充電になります。

c. 省エネルギー設定

バッテリの使用時間を長くするための省エネルギー設定ができます。詳細は本体取扱説明書の “4.6.5.1 バックライト” および “4.6.5.2 パワーダウン” をご参照ください。

Ni-Cd電池は貴重な資源を使用しています。また再利用することにより、ごみを減らすのに役立ちます。地球環境のために、使用済みのNi-Cd電池を廃棄せずに、リサイクルにご協力ください。

メ　モ